

出力ネジ端子構造の分割 CT (φ 10 ~ φ 36 / ~ 600Arms)



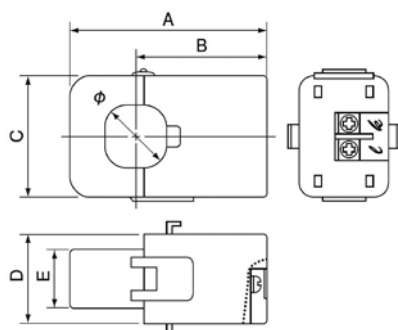
型 式 CTT-10-CLS、CTT-16-CLS、CTT-24-CLS、CTT-36-CLS RoHS10 対応品

〔特 長〕

- 小型軽量化CTL-CLSシリーズと特性互換の端子タイプ。
- 出力ネジ端子構造の採用で、各種施工条件に標準品で対応可能。
- 既設分電盤でも取付が容易なナイロンスプリング・ワンタッチクランプ型。
- 万一のCT2次側開放を保護する開放保護素子を標準装備した安全設計。
- φ 10 ~ φ 36の貫通穴径、最大600Aまで対応可能な豊富なバリエーション。

※ φ 24、φ 36の製品は、変流比100 : 1以上の1A出力などOEM扱いで対応可。

〔外形図〕



枠番	寸法					
	A	B	C	D	E	φ
CTT-10-CLS	50	37	23	26	14.5	10
CTT-16-CLS	55	40.5	29.5	31	19	16
CTT-24-CLS	74.5	49.5	45	34	22	24
CTT-36-CLS	91	61	57	40.5	22	36

〔仕 様〕 Ta=25℃

型 式	CTT-10-CLS	CTT-16-CLS	CTT-24-CLS	CTT-36-CLS
適 用 電 源	0.01~80Arms (50/60Hz)、 $R_L \leq 15\Omega$	0.01~120Arms (50/60Hz)、 $R_L \leq 10\Omega$	0.1~300Arms (50/60Hz)、 $R_L \leq 10\Omega$	0.1~600Arms (50/60Hz)、 $R_L \leq 5\Omega$
最大許容電流	120Arms連続	300Arms連続	360Arms連続	720Arms連続
出 力 特 性	400mV $\pm 1\%$ /80A (50/60Hz、 $R_L = 15\Omega$)	400mV $\pm 1\%$ /120A (50/60Hz、 $R_L = 10\Omega$)	1500mV $\pm 1\%$ /300A (50/60Hz、 $R_L = 10\Omega$)	1500mV $\pm 1\%$ /600A (50/60Hz、 $R_L = 5\Omega$)
直 線 性	$\pm 1\%$ FS/80A (50/60Hz、 $R_L = 15\Omega$)	$\pm 1\%$ FS/120A (50/60Hz、 $R_L = 10\Omega$)	$\pm 1\%$ FS/300A (50/60Hz、 $R_L = 10\Omega$)	$\pm 1\%$ FS/600A (50/60Hz、 $R_L = 5\Omega$)
公称変流比	3000 : 1	3000 : 1	2000 : 1	2000 : 1
二次巻線抵抗	400 Ω (参考値)	280 Ω (参考値)	70 Ω (参考値)	27 Ω (参考値)
出 力 保 護	$\pm 7.5Vp$ クランプ素子内蔵		$\pm 3.0Vp$ クランプ素子内蔵	
耐 電 圧	AC2000V (50 / 60Hz)、1min (コア-出力端子一括間)			
絶 縁 抵 抗	DC500V、 $\pm 100M\Omega$ (コア-出力端子一括間)			
使 用 条 件	-20℃~+50℃、 $\leq 80\%$ RH、結露のないこと 屋内組込用、取付方向フリー			
保 存 条 件	-30℃~+90℃、 $\leq 80\%$ RH、結露のないこと			
構 造	ナイロンケース簡易閉鎖型 フライトコア・ケース入クランプ構造 ナイロンヒンジ/ナイロンスプリング方式		ナイロンケース簡易閉鎖型 ナイロンヒンジ/ナイロンスプリング方式	
許容脱着回路	概略100回程度			
出 力 端 子	2×M3ネジ端子・端子カバー付			
ネジ締めトルク	0.3N・m			
質 量	約45g	約75g	約180g	約320g

- 備考 (1) 接合面に衝撃的な力がかかると、内部のフェライトコアが折損することがあります。(10、16 タイプ)
- (2) コア接合面は防錆処理してありますが、万一、錆が発生した場合は、CRC-556 (市販品) スプレーで錆落としを行い、再塗布することで復旧できます。(24、36 タイプ)
- (3) 出力端子に取付けられているネジは専用のものをご使用下さい。
- (4) CT の二次側開放は高電圧が発生し、感電・故障の原因になりますので絶対に行わないようにご注意ください。開放保護素子は誤って活線に取り付けてしまった場合の保護を目的とするものであり、二次側開放を容認・推奨するものではありません。
- (5) 基本的には 50/60Hz でご使用いただく製品ですが、高周波でご使用の場合は、CT の発熱にご注意ください。(24、36 タイプ)